

単位数	2	学科・学年・学級	普通科3年選択者
教科書	啓林館 化学基礎 改訂版	副教材等	数研出版 チェック&演習 化学基礎

## 1 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4 5	第3章 酸化還元反応	①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤	・酸化・還元の定義を理解する。 ・酸化剤、還元剤について学習し、それらの反応を理解する。	行動観察 小テスト ワークシート分析
				第1回定期考査	定期考査
	6 7	第3章 典型金属元素	③金属の酸化還元反応 ④酸化還元反応と人間生活	・金属のイオン化傾向にもとづいて、金属の反応性を学ぶ。 ・酸化還元反応の利用例として、製錬や電池の原理を学習する。	行動観察 小テスト ワークシート分析
				第2回定期考査	定期考査
	9	化学基礎の復習と問題演習	原子の構造 物質質量	・これまで学習した内容をおさらいしながら、実戦的な問題を解く力を養う。	行動観察 小テスト ワークシート分析
後期	10	化学基礎の復習と問題演習	化学反応式 酸と塩基 酸化還元	酸素を含む有機化合物であるアルコールやエーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、油脂などについて、構造や性質を学ぶ。	実験レポート分析
				第3回定期考査	定期考査
	11 12	総合演習	共通テスト対策	・本番同様の問題演習を行う	小テスト 実験レポート分析
				第4回定期考査	定期考査

## 3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能・表現	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

## 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

## 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

積極的に授業に参加し、自ら進んで取り組みましょう。  
化学用語をきちんとまとめ周期表を使いこなせること、粒子の違いと物質量の扱いに慣れることが大切です。  
わからない事をそのままにせず、質問や復習に心がけましょう。  
演習の時間は、本番同様、真剣に問題と向き合う姿勢が求められます。